

Oracle Discoverer 3i User Edition

パッチ・リリース・ノート

リリース 3.3.59

2001 年 1 月

部品番号 : J02146-02

目次

はじめに.....	2
1. 動作条件.....	3
2. インストール方法.....	4
3. 複数バージョンの Discoverer Server の使用について	5
4. Microsoft Internet Explorer で Oracle JInitiator を使用する方.....	6
5. このリリースでの主な制限事項および回避策.....	7
6. 追記事項.....	8



Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

はじめに

本リリースノートでは、Oracle Discoverer 3i User Edition for Windows リリース 3.3.59 を利用するために必要な情報を提供します。以前のバージョンのリリース・ノートと重複する内容につきましてはこのリリース・ノートの記述が優先されますのでご注意ください。

1. 動作条件

本パッチを適用するには、マシンにあらかじめバージョン 3.3.57 の Discoverer3i User Edition がインストールされている必要があります。

2. インストール方法

インストールする前に、起動している他のアプリケーションをすべて終了させます。また、「Discoverer3i」サービスも停止します。さらにタスクマネージャを使用して、残っている「dis33pr.exe」プロセスを停止します。他に Norton AntiVirus など、アンチウイルスソフトのサービスが起動している場合にはそれらのサービスを停止してください。

このパッチが含まれる CD は、自動起動に対応しています。自動起動では CD を挿入した後に Oracle Installer が自動的に起動します。自動起動をしない場合は、[Shift]キーを押しながら CD を挿入してください。

Oracle Installer を手動で起動するには、スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、次のように入力します。

D:¥SETUP.EXE (CD-ROM ドライブが D の場合)

Oracle Installer が起動した後、以下の手順でインストールを行います。

1. 「Oracle インストール設定」ダイアログ・ボックスで、次の情報を入力あるいは選択して、「OK」をクリックします。

「会社名」：会社名

「名前」：Discoverer3i User Edition リリース 3.3.57 がインストールされている Oracle ホームを選択します。

「場所」：Oracle ホームのパスを選択します。以前にこのホームに製品をインストールしていた場合は、このディレクトリは変更できません。

「言語」：このサーバーで使用する言語

2. 「Software Asset Manager」が起動します。以前にシングルマシン・インストールを行った場合は、「使用可能な製品」からすべての製品を選択し、「インストール」をクリックします。以前に分散インストールをしている場合には、サーバーごとに必要なコンポーネントを選択して「インストール」をクリックしてください。
3. インストールが開始されます。インストールが完了すると「インストール完了」メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると README ファイルが表示されます。
4. 「Software Asset Manager」に戻りますので、「終了」をクリックします。Oracle Installer を終了します。
5. Web サーバーのキャッシュに以前のバージョンの Discoverer が残ってしまうことがあるため Web サーバーを再起動します。
6. これで Discoverer3i User Edition リリース 3.3.59 がサーバーにインストールおよび登録されました。NT サービス「Discoverer3i」が更新され、自動的に起動されます。以降の設定に関しては「インストレーションおよび管理ガイド」を参照してください。（設定内容は以前のバージョンでの状態が保持されています。）

3. 複数バージョンの Discoverer Server の使用について

このバージョンの Discoverer Server と以前のバージョンの Discoverer Server をブラウザから同時に使用することはできません。これは使用する Java オブジェクトのバージョンが異なるためです。通常、ブラウザからリリース 3.3.59 の Discoverer Server に接続したときに、新しい Java オブジェクトがダウンロードされますが、何らかの理由でオブジェクトがダウンロードされず以前のバージョンのままになっている場合、接続できずにエラーが発生します。この場合は手動で Java オブジェクトを削除し、ブラウザを再起動してから接続することで、リリース 3.3.59 用の Java オブジェクトがダウンロードされます。

4. Microsoft Internet Explorer で Oracle JInitiator を使用する 方法

このバージョンの Oracle Discoverer3i User Edition では、Java Virtual Machine(JVM)として Oracle JInitiator を Microsoft Internet Explorer で使用することができます。既存のリリースでは、Microsoft で提供されている JVM のみのサポートでしたが、Oracle JInitiator をサポートすることにより、Netscape Navigator と Microsoft Internet Explorer で共通の JVM として使用できるようになりました。また Microsoft JVM の仕様変更に影響されずに Discoverer を使用することができます。

Microsoft Internet Explorer で Oracle JInitiator を使用するためには、Microsoft Internet Explorer で Netscape Navigator 用のスタートページにアクセスしてください。もし現在のユーザーが「Welcome」ページを参照している場合は、自動的にブラウザごとのスタートページに移動してしまいます。このような場合は明示的に Netscape Navigator 用のスタートページにアクセスすることで、Oracle JInitiator のインストールをすることができます。

デフォルトインストール後の Netscape Navigator 用のスタートページの URL は以下の通りです。

`http://<Web サーバのルート>/discwb33/html/japanese/netscape/start_nn.htm`

5. このリリースでの主な制限事項および回避策

- Microsoft Internet Explorer および Microsoft JVM の仕様変更により問題が発生した場合
Netscape Navigator をご利用になるか、Microsoft Internet Explorer で Oracle Jinitiator を使用することで問題を回避できる場合があります。
- EUL 内に全角 7 文字から構成されるアイテム名(ユーザー定義アイテムを含む)がある場合
上記の場合、Discoverer 3i User Edition は Discoverer Server との接続が失われることがあります。この場合はアイテム名が全角 7 文字にならないように変更してください。全角 7 文字以外では問題は発生しないため、アイテム名に半角の文字を追加することも有効です。この問題は次期リリース以降での修正を予定しています。
- Discoverer 3i User Edition で条件の追加時に、Discoverer Server との接続が失われる
上記の場合、「名前を自動生成」のチェックを無効にすることで回避できることがあります。
- Discoverer 3i User Edition 起動用の URL で、WorkBookSource 引数が機能しない
URL への引数が機能しない場合があります。手動で操作して問題を回避してください。
- Excel 形式は Microsoft Excel95 形式です。
 - エクスポートされたデータの書式に問題がある場合、Excel 上でセルの書式変更を行なってください。
 - Excel95 より上位のバージョンにのみ存在する機能は利用できないことがあります。
 - Excel の仕様を確認の上、仕様外のデータをエクスポートしないようにして下さい。
(例) 1セルの文字数：255、ワークシート：16,384 行×256 列 など
 - Discoverer は個々のデータ・ポイントに基づいて結果を計算することができませんが、この場合、ワークシートを表計算アプリケーションにエクスポートし、その表計算アプリケーションの計算機能を使用することが可能です。
- Discoverer3i User Edition で「Discoverer Server との接続が失われました。」のメッセージが表示される
Discoverer3i User Edition のアプレットを終了し、Web ブラウザを再起動してからお使いください。

6. 追記事項

- 接続可能なデータベースは Discoverer3.1 に準じます。
- Windows2000 には対応しておりません。Discoverer Server は WindowsNT4.0 にのみインストール可能です。
- 対応 Web ブラウザについて、下記の環境でのみ動作可能です。

Windows95、WindowsNT 4.0

Microsoft Internet Explorer 4.01 (Version 4.72.3110.8 以上), 5.0x

Netscape Navigator/Communicator 4.05, 4.06, 4.5x, 4.7x

※ Netscape Navigator /Communicator で実行する場合には Oracle JInitiator が必要

Windows98

Microsoft Internet Explorer 5.0x

※ Internet Explorer で実行する場合には Microsoft JavaVM 5.0.0.3176 以上が必要